

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	敦賀市立子ども発達支援センター パラレル 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和6年12月24日		～ 令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和6年12月24日		～ 令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中核的機能の役割として、市内の各施設との連携。	市内の保育園・幼稚園・養護施設を対象に、療育について学んだり、支援グッズに見たり触れたりする研修の実地を今年度もつことができた。	研修の定員が少なかったのもあるが、定員をオーバーする要望が多かったので、次年度以降も定期的に開催していきたいと考えている。
2	兄弟を含めたご家族で楽しめるイベントを、土曜開所日を利用して開催している。	「土曜日に気兼ねなく遊べる場所がほしい」という保護者の方のご意見から、土曜開所日を利用したイベントを企画するようになった。オープンパラレルは定番のイベントになってきていて、参加者も増えてきている。	今後もご家族で楽しめるイベントを企画。すぐに定員に達してしまいうイベントも増えてきているので、部数を増やしたり時間帯を伸ばせないかなど検討中。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	夕方の個別療育に希望が集中することが多いが、その希望に添えないことがある。	職員の勤務体制の関係で、希望に沿うことが困難な場合がある。	保護者同席が難しい場合は送迎サービスを利用したり、会議等を重ねて必要な時間や回数も含めて一緒に検討していく。
2	保護者研修等の開催をしても、参加者が少ない。	働いているご家族が多いため、時間帯や日にちの融通をつけにくい。	・どのような形や時間帯が参加しやすいのかアンケートをとりたい検討中。ペアレントトレーニングについては、年度末にむけて参加しやすい形をアンケートをとっている最中。 ・「参加したい！」と思うような研修会を開催したいと考えているのでそれも含めたアンケートの実地。
3			